

日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡大会を開催

世界最高レベルを体感してください

第50回日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡大会を開催します。世界を代表する選手が集まっているレベルの高い女子ソフトボールリーグです。世界最高レベルの試合を体感してください。



- ▼日にち 10月14日(土)、15日(日)
- ▼場所 全但バス但馬ドーム(日高町名色)
- ▼入場券 一般1,000円、中学生・高校生600円(当日400円増し)
※スポーツ振興課などで購入できます。

大会日程

- 1日目 10月14日(土)
第1試合(10:30~)
デンソー VS SGホールディングス
第2試合(13:00~)
シオノギ製薬 VS 日立
- 2日目 10月15日(日)
第1試合(10:30~)
日立 VS デンソー
第2試合(13:00~)
SGホールディングス VS シオノギ製薬



《問合せ》同実行委員会事務局(日高文化体育館内)
☎42-2505

「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会を開催

受賞者 平出和也さんが来市

第21回(2016)「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会を開催します。授賞式では、受賞者の平出和也さんと特別賞の「はんしん自立の家甲山登山隊」に冒険賞を授与します。授賞式に引き続き、平出さんが登頂の様子をリアルに撮影し、カイトを使用しての空中撮影など、誰にも真似できない冒険と撮影を両立している話をしていただきます。《問合せ》植村直己冒険館 ☎44-1515



▲ドローンで撮影



▲カメット峰登山

日時 9月30日(土)午後1時30分~
(開場 午後0時30分)

場所 日高文化体育館

内容 オープニング(府中小学校児童)
植村直己冒険賞の授与
植村直己冒険賞特別賞の授与
平出和也さん記念講演

アルパインクライマーと山岳カメラマンの二刀流
平出和也さん(38歳・神奈川県横浜市在住)

1979年生まれ。東海大学山岳部で登山を学び、在学中にクーラカンリ東峰初登頂、チョー・オユー無酸素登頂。2008年クライミングパートナーの谷口



けいさんと共にカメット南東峰初登頂。その功績が認められ、2009年に登山界の最高の栄誉ともいわれる「ピオレドール(金のピッケル)賞」を日本人として初受賞した。近年では多くの登山隊に帯同し、写真、映像を数多く残している。

植村直己冒険賞特別賞 はんしん自立の家甲山登山隊

障害者支援施設「はんしん自立の家」から見える甲山。「いつか山頂に登ってみたい」との入居者の声を受け、関西学院大学や神戸医療福祉専門学校の学生ボランティアがサポート。歩ける人はそれぞれのペースで一步一步進み、車いすの人は1台を4人の学生が交代で担いで登りました。

夢を抱いて11年、施設の入居者のうち希望者全員が頂上から景色を見るという願いがかないました。

スマホデビューをしてみませんか

世代間の情報格差の解消のため、KDDI(株)とNTTドコモと連携して、無料のスマートフォン(スマホ)教室を開催します。

KDDI

▼日時 9月19日(火)午後1時30分～3時30分

▼場所 本庁舎 3階 庁議室

▼内容 スマホとは▽基本操作▽インターネット▽アプリ活用▽安心・安全な使い方など

▼対象 本市在住の高齢者

NTTドコモ

▼日時 9月26日(火)午後1時30分～3時30分

▼場所 日高庁舎 3階 第3会議室

▼内容 操作方法▽電話・メ

(おおむね70歳ぐらいまでの方)で、スマホ購入前に基本的な操作方法を学びたい方。過去の参加者を除く

▼使用端末 Android端末

▼定員 20人(要事前申込み・先着順・参加者が8人に満たない場合は、延期または中止する場合あり)

iPhone

▼使用端末 iPhone

▼定員 24人(要事前申込み・先着順・参加者が10人に満たない場合は、延期または中止する場合あり)



豊岡市議会議員選挙

豊岡市議会議員選挙

告示日
10月22日(日)

投開票日
10月29日(日)

任期満了(10月31日)に伴う豊岡市議会議員選挙を上記のとおり行います。

立候補予定者説明会

▼日時 10月3日(火)午後2時

立候補届出書類予備審査

▼日時 10月12日(木)午前9時

《問合せ》選挙管理委員会事務局
☎23-5454

時(正午(豊岡地域居住者)▽午後2時～5時(城崎・竹野・日高・出石・但東地域居住者)

説明会・予備審査共通

▼場所 本庁舎 2階 大会議室

▼その他 参加は1陣営2人以上



市民から募集した、心温まる「なれそめエピソード」を紹介します。

とら吉さん(女性)
結婚7年目

子どもたちから「そろそろ結婚したら？」

当時私はバツイチ、2人の子持ち。今の主人はそんな私と6年間そばにいてくれて、子どもたちの成長を応援してくれていました。

あの頃のおでかけ(デート)はもっぱら子どもたち優先の遊園地や公園…と、家族的なレジャーばかり。でも主人はそれもととても楽しかったようで、時には私そっちのけで子どもたちと盛り上がっていたくらいです。たまに仕事が早く終わった時には、子どもたちが学校から帰ってくるのが待ちきれず、徒歩で迎えに行くこともよくありました。

いつだったかけんかした時、主人が「2

人のおかげで僕は『子がかすがい』という意味を知った」と話してくれ、私はどんなにどんなに嬉しかったか…。

そんな頃、大きくなった子どもたちから「もうそろそろ結婚したら!」なんて言われるようになり、なんとなく慎重だった私たちの背中を押してもらいました。

それから何年か経った今、家族が1人増え5人家族に。今までいろいろあったけど、すごく幸せな毎日を過ごさせてもらっています。

これから先も、きっといろいろあるだろうけど、何度だって一緒に乗り越えられるといいなあ。いつもついボロカス言っちゃうけど、主人にははととてもとても感謝しています。

《問合せ》ハートリーフ戦略室 ☎21-9100

